

2026 年 2 月 17 日

各 位

**(経過開示) 宇宙推進事業プロジェクト「Mars X」トークンの市場取得および
当社「ツインエッジ・トレジャリー」への組み入れ完了に関するお知らせ**

当社は、2026 年 2 月 16 日付「[分散型自律組織「Mars X DAO」への技術提供および宇宙推進事業プロジェクトの開始に関するお知らせ](#)」にて公表いたしました戦略的支援の一環として、本日、当該プロジェクトが発行するガバナンストークン「Mars X (\$MX)」の分散型取引所 (DEX) へのリスティング（上場）が完了したことを確認いたしました。

これを受け、当社は本日、市場を通じた公正な取引により当該トークンを一定数取得し、当社の戦略的資産ポートフォリオ「ツインエッジ・トレジャリー」へ正式に組み入れましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 取得の背景と整合性について

当社は、2026 年 2 月 16 日付の開示において、Mars X DAO からの「事前割当（プレメイン）等の受領は行わない」旨を公表いたしました。これは、特定の主体が初期トークンを独占することなく、全ての参加者が公平な条件で参画する「フェアローンチ」の精神を尊重するためです。

本日のトークン取得は、当該方針を遵守し、分散型取引所 (DEX) における一般市場取引を通じて、自己資金により実施されたものです。（取得価額：約 9 百万円）

これにより、当社は透明性を保ちながら、DAO のエコシステムに資金（流動性）を供給し、かつガバナンス参加権を有する主要なステークホルダー（保有者）としての地位を確立いたしました。

2. 「ツインエッジ・トレジャリー構想」における位置づけ

当社の掲げる「ツインエッジ・トレジャリー構想」は、宇宙産業の成長を多角的に企業価値へ取り込む戦略です。

➤ リアル資産 (RWA) : スペース X 社 株式 (※既報の通り投資実行済み)

➤ デジタル資産 (Crypto) : Mars X トークン (※今回取得)

今回、Web3 文脈での宇宙事業応援プロジェクトである「Mars X」トークンをポートフォリオに組み入れることで、実社会の宇宙開発の進展と、デジタル空間でのコミュニティの熱狂の双方を、当社の資産価値向上に繋げる体制が整いました。

3. 取得の内容

対象資産: Mars X DAO ガバナンストークン (\$MX)

取得方法: 分散型取引所 (Raydium 等) における市場買付

取得目的:

- ・ 「ツインエッジ・トレジャリー」の構築および運用
- ・ Mars X DAO におけるガバナンス (投票) への参加
- ・ エコシステムの安定化および流動性供給

なお、本件が当期の業績に与える影響は軽微であります。

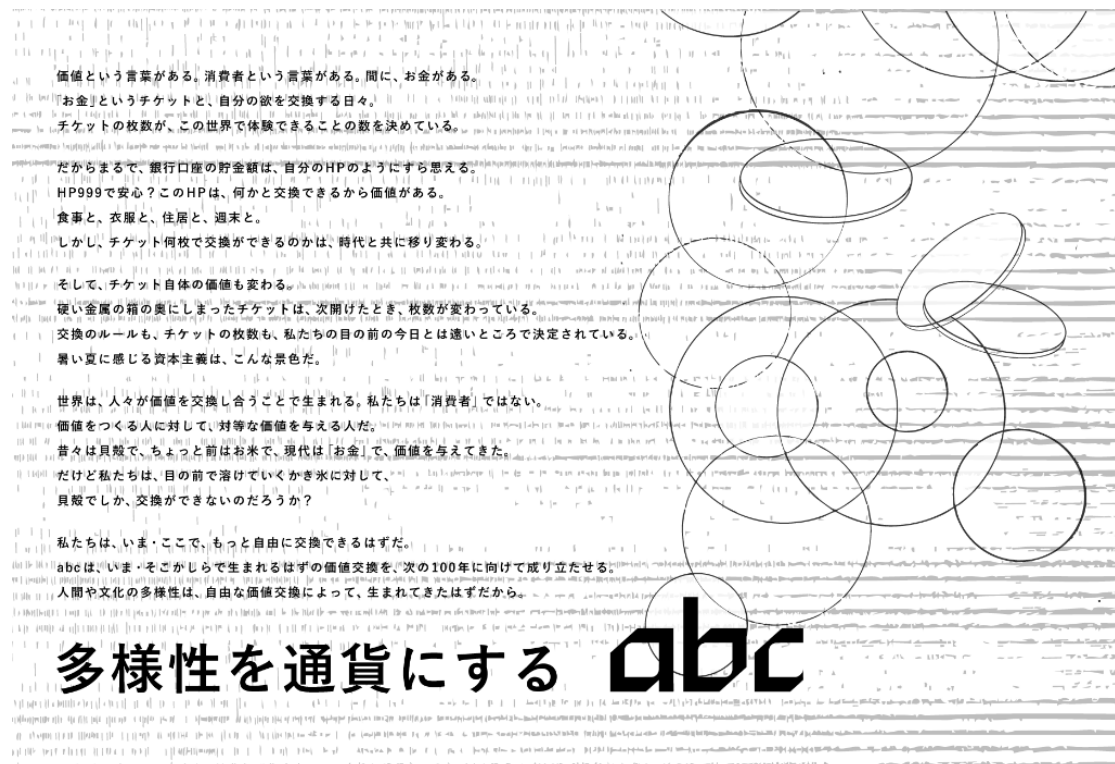
今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

【ご留意事項】

本資料は、当社の事業活動に関する情報の提供を目的としたものであり、特定の暗号資産 (トークン) の勧誘や売買の推奨を目的とするものではありません。

「Mars X」トークンは Mars X DAO が発行するユーティリティ・トークンであり、金融商品取引法上の有価証券には該当いたしません。また、本プロジェクトはスペース X 社の公式プロジェクトではありません。暗号資産は価格変動リスクを伴うものであり、当社は当該トークンの価格や価値を保証するものではありません。

記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上